

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略					
取組の基本方針	01 人と自然の共生			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌森林公園内基線道路の一般車両通行者（江別市民）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

野幌森林公園内基線道路の入り口等に一般車両の通行抑制を促す看板を設置し、その効果を検証するために交通量を測定する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自然環境の保全を図るため、一般車両の通行を抑制する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	交通量（自動車）	台	31	20	17	17
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	22	27	35	72
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,144	1,140	1,165
総事業費 (A+B)		千円	1,175	1,171	1,175	1,237

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・交通量調査（年1回）	・交通量調査経費	60千円
		・関係車両証更新経費	12千円（隔年実施）

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・企画展の開催（休止中）と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。
- ・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。
- ・市内の景観資源の周知を目的として、3年毎に都市景観フォトコンテストを開催する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	景観イベントの開催日数	日	141	0	240	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	都市景観賞受賞件数	件	60	60	60	62
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	506	0	109	507
正職員人件費 (B)		千円	3,075	0	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,581	0	1,629	2,061

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	都市景観賞の開催	都市景観賞開催経費 507千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：定住促進事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び移住検討者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	日本総人口	千人	126,167	125,880	125,120	125,120
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・定住に関する相談窓口の対応を行う。
- ・地域イベントへの参加や自治会などのコミュニティとの交流を行う。
- ・地域の魅力について情報収集、発信を行う。
- ・移住を促すため、首都圏及び札幌市でPR活動を行う。また、北海道を中心とした道内市町村との広域連携事業である移住支援事業を実施する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	定住等PR活動回数	回	5	7	7	7
活動指標 2	まちづくり活動等の事業数	回	3	3	3	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内での居住維持や子育て世代の移住が促進される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	定住に関する相談対応件数	件	35	48	41	41
成果指標 2	ホームページアクセス数（年間）	人	3,161	11,981	20,237	20,237

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,775	2,674	6,082	6,563
正職員人件費 (B)		千円	7,687	7,629	7,602	7,768
総事業費 (A+B)		千円	10,462	10,303	13,684	14,331

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	地域おこし協力隊による地域PR 移住支援事業（広域連携）	地域おこし協力隊報酬 北海道移住交流促進協議会負担金	2,640千円 50千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活バス路線等運行補助事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活バス路線等事業者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	バス路線数（系統数）	系統	27	29	29	29
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、運行費の収支差に対する補助金を予算の範囲内で交付する。  
 <見込額>  
 ・江別2番通線：24,870千円  
 ・野幌見晴台線：17,130千円  
 ・国補助金の対象になっているが、利用の減少により国補助の一部がカットになってしまった夕張鉄道線のバス路線に対し、沿線自治体と協調して補助を行う。  
 <見込額>  
 ・札幌線【夕張】：1,538千円  
 ・札幌線【栗山】：1,787千円

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	29,355	38,448	47,000	45,325
活動指標 2	補助対象バス路線数	路線	2	2	2	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・生活バス路線をはじめとした路線の運行が維持される。
- ・交通弱者の移動の利便性が確保される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	1	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	29,355	38,448	47,000	45,325
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,281	2,330
総事業費 (A+B)		千円	31,661	40,737	49,281	47,655

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金45,325千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

豊幌地区の住民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,632	2,626	2,626	2,607
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性、安全性が確保される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	1,319	1,313	1,310	1,327

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金550千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,833	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・平成30年度に策定した地域公共交通網形成計画に基づき、路線バスの利用促進、江北地区のデマンド型交通の正式運行への移行、豊幌地区のデマンド型交通の実証運行の継続。
- ・令和5年6月に計画期間が終了する地域公共交通網形成計画の次期計画策定のため、必要な調査・アンケート等を行い、江別市地域公共交通活性化協議会における協議を経て次期計画案を作成する。
- ・市民に対して、市ホームページ・広報誌による情報発信を引き続き行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより、利用が促進される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	バス輸送人員	千人	518	385	562	562
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,839	2,153	8,705	15,353
正職員人件費 (B)		千円	11,531	10,681	11,403	11,652
総事業費 (A+B)		千円	14,370	12,834	20,108	27,005

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期公共交通計画策定に向けた調査等の実施</li> <li>・地域公共交通活性化協議会等開催</li> <li>・バス路線マップ等作成</li> <li>・市ホームページや広報誌による周知・利用啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期公共交通計画案作成に係る負担金</li> <li>・江北地区デマンド型交通運行</li> <li>・豊幌地区デマンド型交通実証運行</li> <li>・地域公共交通活性化協議会等開催</li> <li>・バス路線マップ等作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8,500千円</li> <li>1,300千円</li> <li>3,900千円</li> <li>675千円</li> <li>614千円</li> </ul>

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）の教員及び教員を中心とした団体。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標1	市内4大学所属教員数（短大含む）	人	475	469	469	473
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。なお、対象は第6次江別市総合計画の「えべつ未来戦略」に関わる事業等とする。  
 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱  
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、1,000千円を上限に補助

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標1	補助事業件数	件	4	3	6	5
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

補助金の交付により、市内4大学の教員及び教員を中心とした団体が、地域の課題解決につながる具体性・実用性の高い調査研究を実施できるようにする。また、大学の優れた研究等を地域の課題解決に生かすため、教員等の関心を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標1	補助事業申請件数	件	6	3	6	5
成果指標2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費(A)		千円	1,781	1,260	2,285	2,085
正職員人件費(B)		千円	3,075	3,052	3,041	3,107
総事業費(A+B)		千円	4,856	4,312	5,326	5,192

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。</li> <li>前年度の補助事業について、報告会を開催する。</li> <li>【令和3年度採択事業】</li> <li>SDGsの実現を目指した江別市におけるオープンデータベースとWEBGIS構築事業</li> <li>江別市の地域資源を活用した商品開発に関する調査研究など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市大学連携調査研究事業補助金 1,950千円</li> <li>えべつ未来づくりプラットフォーム負担金 100千円</li> <li>大学連携事業報告会会場使用料 35千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生団体

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内4大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,096	10,452	10,452	10,675
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する学生団体が行う地域住民とのふれあいや、まちづくりに関する自主的な取組（環境活動、地域福祉、教育及び文化、観光及び産業、その他まちづくりに関する事業）に対し、補助金を交付する。  
 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱  
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、100千円を上限に補助

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	6	2	5	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学に在学する学生が、江別市民の一員としての意識を持つことが地域と大学による協働のまちづくりにつながることから、補助金の交付により、学生が自主的に、地域住民とのふれあいやまちづくりに関する取組を実施できるようにする。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	補助事業申請件数	件	6	3	5	5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	176	157	425	400
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	3,801	3,884
総事業費 (A+B)		千円	4,020	3,972	4,226	4,284

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内4大学に所属する学生団体が行う地域活動等に対し、補助金を交付する。 【令和3年度採択事業】 ・江別の食材を使用した食品開発プロジェクト ・江別市の環境評価のための市民向けアプリの開発など	・江別市大学連携地域活動支援事業補助金 400千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,096	10,452	10,452	10,675
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	8	8	8	8

手段（事務事業の内容、やり方）

連携自治体（江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）へ市内4大学の学生を就業・定住させることを目的に組織された学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内で実施する地域活動プログラム（インターンシップ、ワークショップ、地域イベント参画など）に学生が参加するための支援を行う。支援の手段は、学生と地域活動プログラムのマッチングほか、交通費の支給など。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	41	4	26	35
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学の学生が地域の魅力を知り、将来的な市内での就業・定住につなげるために、地域活動プログラムに参加する学生の増加を図る。また、協議会の運営を通じて、当市以外の連携自治体への就業・定住についても実現を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	463	42	141	400
成果指標2	参加者のうち市内へ就業した者の人数	人	3	3	3	3

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費(A)		千円	3,244	2,933	3,758	3,968
正職員人件費(B)		千円	7,687	7,629	7,602	10,098
総事業費(A+B)		千円	10,931	10,562	11,360	14,066

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会の運営</li> <li>学生地域活動プログラム参加支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,801千円</li> <li>消耗品等 20千円</li> <li>一般役務費 73千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学生等地域関係促進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内大学生

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市内大学生	人	0	10,452	10,452	10,675
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学内に江別PRブースを設置して、江別市に関する情報を発信する。
- ・地域交流会等を開催し、若手経営者や就業者等と大学生との繋がりを創出する。
- ・えべつファンスマホアプリを活用した情報発信を行い、アプリ登録者を獲得する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 地域交流会等実施回数	回	0	1	25	12
活動指標 2 江別PRブース情報発信点数	点	0	162	250	100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市の認知度の向上や愛着心が育成される。
- ・卒業後においても市との繋がりが維持され関係人口が創出される。
- ・20代前半の転出抑制や将来の定住促進が図られる。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 地域交流会等参加者数	人	0	11	95	50
成果指標 2 えべつファン登録者数	人	0	10	350	900

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	10,040	9,671
正職員人件費 (B)	千円	0	0	3,801	3,884
総事業費 (A+B)	千円	0	0	13,841	13,555

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EBETSUto（えべつと）推進事務局の運営</li> <li>・市内4大学内への江別PRブースの設置</li> <li>・地域交流会の開催</li> <li>・江別の認知度向上バスツアーの開催</li> <li>・スマホアプリの運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EBETSUto（えべつと）推進事務局の運営に係る経費 8,351千円</li> <li>・市内4大学内への江別PRブースの設置に係る経費 176千円</li> <li>・地域交流会の開催に係る経費 292千円</li> <li>・江別の認知度向上バスツアーの開催に係る経費 352千円</li> <li>・スマホアプリの運営に係る経費 473千円</li> </ul>

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：国際交流情報提供事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市内通勤、通学者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- 日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。
1. 文書、刊行物等の翻訳、監修
  2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力
  3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力
  4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力
  5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接遇
  6. 在住外国人へのサポート

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	128	75	120	140
活動指標 2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	717	272	170	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 地域住民等が国際感覚や国際意識を持つ
2. 地域住民等の異文化に対する理解が深まる
3. 在住外国人にも住みやすい街になる

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	1,138	67	230	1,350
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,642	5,566	5,579	3,744
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,144	1,140	1,165
総事業費 (A+B)		千円	6,795	6,710	6,719	4,909

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講演（出前講座、語学教室等）</li> <li>・刊行物等の翻訳</li> <li>・市ホームページの作成、更新</li> <li>・姉妹都市グレスラム市との連絡調整、文書作成等</li> <li>・在住外国人への情報提供 ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員報酬 3,720千円</li> <li>・国際交流員費用弁償 18千円</li> <li>・パンフレット等印刷製本費 6千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略						
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策						
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。  
 補助金内訳：学生相互交流にかかる経費 ほか  
 （江別市都市提携委員会補助金交付要綱）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	450	100	100	450
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。  
 1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす  
 3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会やまちづくりに貢献する

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	0	0	3
成果指標 2	姉妹都市・友好都市受入人数	人	3	0	0	3

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	450	100	450	450
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	834	481	830	838

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・姉妹都市グレンシャム市との高校生相互派遣 ・姉妹都市、友好都市を訪問する団体への助成 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力 ・友好都市高知県土佐市からの訪問団との交流	江別市都市提携委員会の事業実施に対する補助金 450千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民交流施設関連経費（江別国際センター施設管理費補助金）

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市国際交流推進協議会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市内の国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が運営している「江別国際センター」の維持管理にかかる経費の一部を補助する。  
 補助金内訳：施設管理費、人件費等の一部  
 （江別国際センター補助金交付要綱）

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	106	2,163	2,222	2,322
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

国際交流施設の運営が安定することにより、国際交流事業が積極的に推進される。

※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,060	6,188	4,700	11,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	106	2,163	2,222	2,322
正職員人件費 (B)		千円	384	1,144	1,140	1,165
総事業費 (A+B)		千円	490	3,307	3,362	3,487

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	以下の事業を実施する江別国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設維持管理のための補助金を支出する。 ・外国人と市民の交流イベントの実施 ・会報、ホームページ等での広報、情報提供 ・外国人に対するホームステイや通訳等のサポート支援 ・主に外国人技能実習生を対象とした日本語教室の開講	江別国際センター施設管理等に対する補助金 2,322千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市職員

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市職員数	人	1,140	1,146	1,140	1,146
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。
- ・行政改革推進委員会を開催し、行政改革推進計画に関する助言、及び次期行政改革大綱の改訂に向け意見を求める。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 行政改革推進委員会開催回数	回	1	3	3	5
活動指標 2 行革関連事業等開催回数	回	11	11	21	12

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 行政改革取組項目数	件	23	23	23	23
成果指標 2 行革関連事業参加者数	人	117	109	230	185

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	54	117	255	255
正職員人件費 (B)	千円	3,844	3,815	3,801	3,884
総事業費 (A+B)	千円	3,898	3,932	4,056	4,139

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 行政改革推進委員会の開催	行政改革推進委員会開催経費 255千円 （委員会報償費 228千円、会場使用料 27千円）

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市職員	人	1,140	1,146	1,146	1,146
対象指標 2	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・評価表の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
- ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。
- ・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会等を開催する。
- ・学識者・有識者、市民公募委員などから構成される行政改革推進委員会を開催し、市が自ら行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2	行政改革推進委員会開催回数	回	0	3	3	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	87.9	86	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	85.6	61.4	100	100

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,165	1,971	1,873	1,949
正職員人件費 (B)		千円	7,687	7,629	2,281	2,330
総事業費 (A+B)		千円	9,852	9,600	4,154	4,279

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	まちづくり市民アンケートの実施	まちづくり市民アンケート実施経費	1,949千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・ 市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・ 現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメールのほか、各担当課で実施する⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・ 市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	1年に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	298	650	600	408
成果指標 2	1年に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	74	114	100	118

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	5,381	5,340	5,321	5,438
総事業費 (A+B)		千円	5,381	5,340	5,321	5,438

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度			

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名： 広報えべつ発行等事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・世帯

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2	世帯数	世帯	57,929	58,668	59,100	59,100

手段（事務事業の内容、やり方）

・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均27ページ、毎月1日付、年12回発行。  
 ・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。  
 ・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。  
 ・ 転入者に江別での生活情報をまとめた「江別生活ガイドブック」を配布する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	月平均作成部数	部	47,096	47,088	47,100	47,100
活動指標 2	広報配布箇所数	箇所	266	261	257	257

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・ 市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改正、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	配布率	%	79.9	79	79.6	79.7
成果指標 2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	81.7	76.9	80.5	81

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	14,205	13,747	13,982	13,982
正職員人件費 (B)		千円	11,531	11,444	11,403	11,652
総事業費 (A+B)		千円	25,736	25,191	25,385	25,634

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	広報えべつの発行、転入者への生活情報をまとめた冊子「えべつ生活ガイドブック」の発行	広報えべつ作成経費	13,706千円
		江別生活ガイドブック	276千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・江別市外在住でこれから移住・定住を考える世帯

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市内外の移住・定住を考える世帯（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市の魅力をPRするリーフレット及びホームページ・SNSを作成・運営し、情報発信する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	5,000	5,000	5,000	6,000
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	22	10	5	12

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

定住先候補として江別市に興味を持っている市外在住者に対して、良好な住環境などを知ってもらったり、良いイメージを持ってもらうことで、移住動機を強めてもらう。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	5,000	5,000	5,000	5,300
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	15,208	20,390	33,360	33,360

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	432	277	333	633
正職員人件費 (B)		千円	3,075	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,507	1,803	1,853	2,187

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の住み良さをPRするリーフレットの作成</li> <li>市勢概要の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別の住み良さをPRするリーフレットの作成 275千円</li> <li>市勢概要の作成 358千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
・ 市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）						
・ 市公式ホームページにより市政情報やイベント情報などを提供する。						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	4,746	5,465	6,672	4,840
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
・ 市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	4,883,144	6,591,588	9,521,131	5,297,080
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	282	240	1,812	1,813
正職員人件費 (B)		千円	7,687	7,629	7,602	7,768
総事業費 (A+B)		千円	7,969	7,869	9,414	9,581

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市ホームページの管理・運営	コンテンツ管理システムの保守管理経費	1,748千円
		モバイルWi-fi	65千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
市外居住者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市外居住者	千人	126,047	125,760	125,000	125,000
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 ・市内大学・企業・経済団体などとともに市のプロモーション（売り込みや知名度向上）のための推進組織（江別シティプロモート推進協議会）を設置し、官民一体的なプロモーションを検討の上、江別の魅力を発信するイベント等の推進プロジェクトを実践する。  
 ・市民等がブログで江別の情報を発信する仕組みづくり（江別市民ブロガーズ）など、まちのイメージを高めるための戦略的な取組を構築する。  
 ・印刷物やホームページをはじめInstagramやフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用など、状況に合わせた効果的な情報発信を検討の上、実施する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	推進プロジェクト等の活動回数	回	10	12	12	10
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 江別シティプロモート推進協議会における官民一体的なプロモーション、まちのイメージを高めるための戦略的な取組、多様な情報発信の実践を通して、積極的に江別市の魅力をPRし、江別市に対する認知度、イメージを向上させる。認知度やイメージの向上は、企業誘致、観光や転入促進など市外の対象に働きかける様々な活動を効果的・効率的に推進するために必要な要素である。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	江別市の認知度の道内順位	位	19	20	20	18
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,154	3,826	4,335	5,275
正職員人件費 (B)		千円	15,374	15,258	15,204	7,768
総事業費 (A+B)		千円	20,528	19,084	19,539	13,043

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	地域おこし協力隊による地域PR 子育て世代向け地域PR	地域おこし協力隊報酬 子育て世代向けイベント開催経費	2,640千円 1,473千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報発信強化事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
 市民及び江別市の情報を必要としている者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民及び江別市の情報を必要としている者	人	0	0	0	0
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 新しい時代に向けた情報発信の強化

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	情報発信回数（年間）	件	0	0	0	250
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 多様化する利用者ニーズに対応した情報発信を行うことで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	行動数	人	0	0	0	30,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,788
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,554
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	4,342

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	LINEの江別市公式アカウントの本格導入・管理・運営	LINE公式アカウント 初期構築 1,210千円 運用費用 990千円 友だち登録促進費用 588千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	情報発信調査研究事業において、現在の情報発信は、多くの情報サイトが、閲覧している利用者の属性や趣向に最適化された情報を選別して表示したり、プッシュ型で新着情報をお知らせしたりするなど、利便性が図られている環境にある。また、非常に多くの情報があふれているなか、市の情報は必要に迫られなければ検索されない。こうした環境から新たに生まれた市政情報弱者に対し、モバイルファーストでパーソナライズされたプッシュ型の情報発信を強化することなどが必要と判断したため。

事業名：生涯活躍のまち整備事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	99 政策の総合推進			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域課題・ニーズの収集や、イベント・セミナー等の実施といった役割を担うコーディネーターを配置する。
- ・生涯活躍のまちを広く周知するためのPRを実施する。
- ・拠点地域を中心とした地域交流事業を実施する。
- ・障がい者の就労環境の充実のため、民間企業との連携会議や福祉事業所による説明会を開催する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	生涯活躍のまち関連イベント開催回数	回	5	10	43	71
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・江別市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。
- ・中高年齢者、若年層、障がい者など多様な主体の交流による「共生のまち」を実現する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	拠点地域内施設の利用者等の数	人	0	0	438	557
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	3,177	11,629	9,534	9,026
正職員人件費 (B)		千円	11,531	11,444	11,403	11,652
総事業費 (A+B)		千円	14,708	23,073	20,937	20,678

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの配置</li> <li>・地域交流イベント等の実施</li> <li>・障がい者就労環境充実に係る会議等開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの配置に係る経費 6,119千円</li> <li>・地域交流イベント等に係る経費 2,407千円</li> <li>・障がい者就労環境充実に係る経費 300千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：次期総合計画策定事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	119,883	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・えべつの未来づくりミーティングの実施
- ・江別市行政審議会の開催
- ・第6次江別市総合計画の総括
- ・第7次江別市総合計画の骨子の作成 等

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 えべつの未来づくりミーティングの実施回数	回	0	0	5	25
活動指標 2 江別市行政審議会等の開催回数	回	0	0	1	20

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市の中長期的なまちづくりの方針を定め、市の活力や住みやすさの向上に寄与する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 第7次江別市総合計画骨子の作成	件	0	0	0	1
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	6,649	6,725
正職員人件費 (B)	千円	0	0	5,321	5,438
総事業費 (A+B)	千円	0	0	11,970	12,163

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・えべつの未来づくりミーティングの実施</li> <li>・行政審議会等の開催</li> <li>・総合計画骨子の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えべつの未来づくりミーティングの実施に係る経費 1,165千円</li> <li>・行政審議会等の開催に係る経費 1,814千円</li> <li>・総合計画骨子の策定に係る経費 3,746千円</li> </ul>

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：姉妹都市提携45周年記念事業

秘書課 秘書係

政策	99 政策の総合推進			戦略				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
江別市民及びグレスヤム市民						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市民、グレスヤム市民	人	0	0	0	234,024
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）						
姉妹都市提携45周年を記念した交流事業の実施						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	0	530
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
市民の姉妹都市に対する理解を深め、今後の都市間交流の充実と円滑化を図る						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	交流事業の両市参加者数	人	0	0	0	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	530
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,165
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,695

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを活用した交流</li> <li>・記念品の交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念交流事業開催等経費 530千円</li> </ul>	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	グレスヤム市との姉妹都市提携が令和4年度に45周年を迎えることから、この節目を祝福し、両市の絆を深めるために、オンライン交流などの記念事業を実施する。



事業名：未来型政策検討事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	99 政策の総合推進			戦略				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内有識者や関係団体などからなる検討委員会で、デジタル技術を活用したまちづくりについての意見交換を行う。
- ・24都市からなる「D&F活用による未来型政策協議会」に参加し、デジタル等の最先端技術などを情報共有し、当社にとって持続可能なデジタル技術の導入に向けた検討を行う。
- ・デジタル技術を活用したまちづくりについてのPR企画を実施する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 デジタル技術に関する会議やイベントの開催回数	回	0	0	0	10
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域課題の解決や生活利便性の向上を図るための、当社にとって持続可能なデジタル技術を活用した取組みについて検討するとともに、その必要性について、市民や関係団体等の理解を深める。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 デジタル技術に関する会議やイベントの参加人数		0	0	0	136
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	1,600
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	7,768
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	9,368

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や関係団体などからなる未来型政策検討委員会の設置</li> <li>・デジタル技術を活用したまちづくりの理解を深めるPR企画の実施</li> <li>・具体的な事業などを検討する庁内会議の開催</li> <li>・24都市からなる「D&amp;F活用による未来型政策協議会」への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来型政策検討委員会の開催 495千円</li> <li>・PR企画の実施 592千円</li> <li>・その他（講師謝礼、消耗品等） 513千円</li> </ul>

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	全国的に、行政手続きのオンライン化や、民間団体等と連携したデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する自治体が増えてきている。江別市においても、令和5年度の実証へ向けて、関係団体等と連携しながら検討を進めて行くこととした。